# 京城新報

●新聞料 ▲一部一錢 ▲一ヶ月前金[illegible] ▲三ヶ月前金[illegible] ▲六ヶ月前金[illegible] ▲郵税一ヶ月[illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰暦 四月二十二日
發行編輯兼印刷人 秋山忠三郎
發行所 京城西部西小門通 京城新報社 電話六六三番

## 總務長官としての鶴原氏（下）

翠山生

▲大阪市長となる▼

伊藤公のめがねで政友會の總務委員の一人とはなつたもの丶、升はホンの員に加はるといふに過ぎぬので、到底彼の政界の腕つ利として多年黨の統御やら、黨員の操縱に熱達して居る尾崎行雄やら松田正久の輩などと翼を並べて雁行する譯には行かぬ實は之が胸に偉大なる野心を抱き追つては天下の覇權を掌中に握らうともいふべき豪邁の人物なら、イクラでも其の手腕を揮ふべき餘地がわつたのであるが、氏にはソンな事は到底出來ない又遣る柄でもない、併し縱し之が先輩の士と並び立つ事が出來ぬにしても、何んでもよいから一寸人目に立ちさうな機略でもほのめかせば可いものを、ソレすら出來ないので、折角氏が政治上の手腕を試むるために、之が屈强の舞臺迄作つて遣つた、伊藤公は少しく思わくが外れ●●●成程此の男は政治家としては駄目だわいと心密かに觀念した、ソレから鐵道屋を罷て此度は大阪の市長となつたが、潮合に評判がよく、大分市の自治行政の面目を改むるやうになり、又市民の人氣に投ずるやうに仕向けたから、一段の信望は翕然として氏に鍾まり、氏も亦快心の念溢るゝ許りであつた。

▲遣り方が派手でれます▼

時に大阪に博覽會が開設されたが、氏は大阪市長としての地位から之が博覽會々長に推された、何にさま大博覽會のことであるから、從て其の責任も重く、心配も一通りでない、其の遣り方の如何に依りては或は其の本職迄にも影響を及ぼして來るは、よく世間にある例である、併し性來至つて利巧の氏は什麽してソンな事に拔目があらうか、萬事萬端氣が利いてよく大阪人士の趣向を考察し、斯うすればアゝアゝすれば斯うと、人情の歸するところを押し計り、充分と派手に遣つたのであるから、輕浮にして華美を好む贅六連は、スッカリ氏の手に余つて仕まい、鶴原さんは隨分派手な方でれますなど感心されたが、又一方市中の殷賑を圖る上に於て、大分花柳界にも金を遣つたから、其の持て方は一通りでない、諸所の料理屋の女將及藝者連中などから、鶴原さんは金放れの良いた方でれますとか又中には馴れつ子の藝者なぞからは、定アちやんは、氣合の良い人でれますさかいなどゝ、大分可愛がられたものである、サテ斯く所々方々から感心され、豪らがられ、可愛がられたはまことに結構であるが、可愛がられて運の盡き、あまり其の遣り方が派手過ぎたゝめ、少なからぬ金を遣ひ果たし大に博覽會の豫算を超過して了つた、所で初めの間こそ市中の殷賑に醉つて居つた市民は後となつて氏が其の大に遣ひ過ぎたを責め立て今度は以前と打つて變つて交々氏を非難し昨は九天の上に祭り上げた氏を、今は九地の下に蹴落すやうになつたのである、依て氏も非常に不快に感じ、博覽會の閉會と共に市長の職を辭した、

▲荷が重い▼

伊藤公も氏の辭職を氣の毒に思つたか什麽か知らぬが、トニカク統監府の設立と共に氏を總務長官に任じた、世人は氏が總務長官として度豪い地位に据り込んだのに一驚を喫すると同時に、果して適任であるか否やを疑つたが、案の通り氏としては少しく荷が重過ぎて荷負けがした其の後副統監が出來てからといふものはまるで一個の俗吏で、所謂剛々たる記室のオに過ぎない、只伊藤公の威望に懾れて、維れ命維れ從ふといふ有樣、平々凡々何等の見るべきものがない偶々祖國へ歸つては暴徒は大抵鎭まつたとか又は韓國の事易々たるのみとか、彼の前にも述べた日本銀行のストライキ運動當時の意氣組やら大坂市長時代の利け腕を、何故今の場合に應用しないのだらう、紅顏老ひ易く業なり難した、お年が若い〳〵といつて居る間に身心の老耄を來たして、仕舞つてからでは間に合はない、幸に氏の賦性や、慧敏にして俊逸、一番勇を鼓してドシ〳〵遣つては什麽だらうと思ふが、

## ●四月中の京城金融

（度支部理財局調）

▲金融の緩慢　前月來逼迫の聲に金融界は神經過敏となれる矢先（天一）諸工事及夏物仕入資金の需要起りたると在來貨物の停滯に依り資金の流通圓滑を缺きたるとに因り（十八、漢農、共同倉庫）金融界益々繁忙の氣勢を呈し來り金利も貸金業者間に於て一般に引締りたる外（漢城）金融機關中に於ても引締をなしたるものなり（天一、共同倉庫）

▲貨物の集散　京仁間に於ける日本商人が過度に悲觀せる結果一向買進まず又韓商人中に於ても昨年末の高値を夢みて容易に手離さず爲に穀類の京仁間に集まるもの尠きを免れず尤も前月よりは比較的增加の模樣なれ共（天一）之れとて金融緊縮の結果荷捌捗々しからず停滯勝なれば隨て價格も下向一方なり（共同倉庫）又棉布綿糸の如きも季節なるに拘らず取引甚だ振はず其他一般貨物も當用口の賣行弗々あるのみにして概して貨物の集散寂寥のまゝ越月したり（一銀天一）

▲通貨の狀況　各貨幣共圓滑に流通せり（漢農、天一）兌換券は爲替不出合の爲濟國商人の兌換券を現送するより取付多く流出勝なるが銀行券は回收勝なり新補助貨は米穀買出資金として前きに地方に散布せられたるも漸次回收勢からず白銅も亦引換期の限定以來回收夥し（一銀）

## 漢城徘徊の記

長風生

花時節に眼疾を得たりしは浪人者には近頃の刑罰なりき、若葉盛りに宮の蹟を尋ねたりしも風邪の爲めに全日の行樂を沒しぬ本年はとかく人事の迫害より天然の迫害に移りしなるべし。

愛兒謙太郎、朝より市中飛び廻るきを强請して已まず、山嶺を下りて先づ黃金町に出でたり、大東俱樂部變じて博覽會となり、又變じて殷商工部となりし奇異なる建物を過ぎ鐘路に出でゝ古本屋を廻覽しぬ、古本屋の主人は散髮洋服の高襟徒に化し、架上の三國史、通鑑、三國史は何時の間にか無くなりぬ、新小說、亡國史論、地理書、今や古本屋は主人より其書目に至るまで開明の潮流に棹したるべし、市上に警守せる巡査は左行右行に餘念なく、鐘路の打鐘に正午の時刻を數へ、電車に乘りて東大門を指して向ふ、謙坊電車の急行に嬉々然たり、街路ノ旅者彼の旗也、市中の看板は皆彼の看板也。

東大門に上りて郊外を見れば靑蕪漸く長じ淸凉里烟霞の間に在り、暴徒襲來に避易したる我等は此烟霞の衣を被むり、此の靑蕪の光りに浴し、此殘春に啼く杜鵑の聲をも暴徒に占領せられたるを悲しまずんばあらず、淸麗なる天色を仰ぐ一人の風流漢も來らず、高樓亦た寂然たり、重ねて舊電車によりて水標橋に出でゝ歸る。

## 小品文

禿山生

●●●●●西小門外の夜景

南方高燥の地に巍めしき洋館、夥多の電燈燦として輝く、之れ電氣水道の親方コールブラン氏の住宅、之に對して北方巍然たる赤煉瓦の洋館之れ中樞院顧問李夏榮氏の邸、此中間の道路を西行すれば義州街道に合す

## 小說　新不如歸（十六）

篠原嶺葉著

給洞橋上月光淡し、白粉せる平家の公達然たる若者等橋上に横笛を吹弄し、アラゝンと一の哀歌を謠ふ、時に驟馬の悲嘶之に和す爲に森羅萬象都沈せんとす、嗚呼之れ好箇の亡國的パノラマならずや、

評　實況見るが如し

尾花敏男が西脇より家に歸つたは、短き冬の太陽の氷川の森に夕暮く頃であつた。他にこそ語らざれ、二年以來探し探した理想の女を探しあてて、結婚の約束まで成立つた身は、戰場に敵將の首級を獲たより金剛石に飾られた月桂冠を戴いたより遙に優る愉快を覺えて、醉眼歡ばしげに母に對ひ、

「阿母さん、豫々御心配をかけました私の妻ですがね、此間も申上げた通り、東京第一の女を探し出して結婚爲やうと、隨分骨を折つて探しました所が、到頭非常に美しい女を探し出しましたよ。」

敏男がサモ愉快さうに語るに引替ね、繼母の奈加子は不愉快さうな顏色で、

「那樣美人が何處に居ました。」

母の不愉快さうな顏色などには、更に無頓着な樣子で、

「何處と云つて、燈臺元暗しとは誰が言つた辭か知れんが能く言つたものです、ツイ貴女目と鼻との仲之町に居たのです。」

「で、其を貰はうと云ふのかね。」

「無論です、貰はんものなら苦辛して誰が探すもんですか、貰うも貰はないも既に今日もう貰つて了つたです。」

繼母は興醒顏して、

「まあ、誰方を賴むで貰ひに行つて貰つた」

「なあに、誰も賴むもんですか、私がテクテクやつて行つたです。」

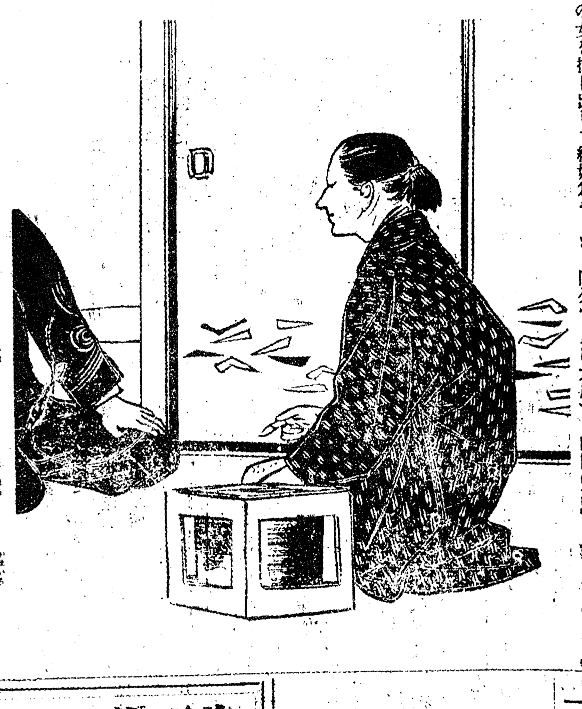
「まあ、」と、呆れた樣子で敏男の顏を永見ながら、

「いくら何だつて、自分の嫁を貰うに自分が貰ひに行く人があるもんですか、本當にお前にも呆れちまうわ……それで先方は何と言ひました。」

「何んと云ふもんですか、媒酌人を賴まずに本人が貰ひに來て下れたのが氣に入つたッて、直に承諾して下れました。」

「先方も先方だね、本當に呆れッちまうわ、一体何をする家だね。」

「何をする家か知らずに行つたです、所が行つて話て見ると矢張且我々の仲間で、今から十年程前に、日淸戰爭で占領した遼東半島を、露國を始め獨逸、佛蘭西の三國が干涉した結果、支那へ還したと云ふを憤慨して自殺を遂げた、有名な西脇少將の令孃です、唯今では長男の義祐と云ふが主人で、此人は大尉で、師團の副官を勤めて居ます。」



繼母はます〳〵不滿さうな顏色で、

「お前さんが好で貰つたもんなら、彼是不足を言ふ理ぢや無いけれど、愈よ貰ふと云ふなら一言位相談して下れたつて宜いぢやないか、私だつて蔭ながら何程心配して居たか知れやしない。」

「だから貴女、豫々斷つて置いたぢやありませんか、私はいつ何時御相談せずに妻を極めるかも知れませんから、其時は必ず不足を有仰らないで許て下さいつて。」

「だから決して不服を云ふ理ぢや無いけれど、あまり變な家からでも貰はうもんなら私が亡くなられたお父樣に對して申譯がないからね、お前がそれ程欲しくて貰うならそれは其で宜いとして、一休婚禮は何日するんだい。」

「婚禮ですか、婚禮は來月二日です、大安吉日です。」

「まあ、大層早いのだね」

京城新報

# 討伐軍の勞を思ふ

增遣軍隊は到着し、現在の駐箚軍と併せて一擧討伐の爲に將さに發動せんとす、余輩は滿腔の悅を以て其勞を感謝するもの也、我精銳の軍隊を以て、草賊に等しき匪徒を討伐するは恰も雞を割くに牛刀を揮ふが如き觀あるも、現時の狀態亦止むを得ざるなり、近時英國が印度の回教匪徒討伐に多くの軍隊を北進せしめ居ると一般なり、飯上の蠅の如く追へば散じ、之を怠れば忽ち集來する暴徒に向て、我忠勇の軍隊を煩すを勿躰なく感ずれども、韓國地方の事態帝國の發展に於て餘儀なき事情に迫りたる也、今更追窮するも益なき事ながら、暴徒發生の初に於て、余輩は幾度も一擧討伐の利なるを說き、姑息の鎭撫策は到底効を奏せずと當局者に警告したるも、當局者は常に樂觀して余輩の說に傾聽する所なかりき、若し夫れ當時余輩の言に聽て斷行したらば、或は今日の增遣隊を要せずして終りしやも知るべからず、時季恰も炎暑に向はんとす、空氣の乾燥に加ふるに赭山多く綠蔭尠し、飲料水の不潔其行軍に不便多からむ、從て風土病たるマラリヤ熱に冒さるゝの憂あり、昨秋に於て之を斷行せば斯る懸念もあらざりしなり、今や悔るも既に遲し、討伐軍の行進する所は必ず渠は屛息して戰ふものあらざるべし、然れども茲に最も注意すべきは暴徒と良民との區別なり、渠等は我軍隊の行進するを聞かば、忽にして良民となり濟し、之を詰問するも容易に實を吐かず、殆ど其差別を檢するに苦しむべし、されど暴徒の群居せる所の土民は其間離るべからざる關係あり、異の良民なりせば我軍隊を歡迎し告るに實を以てするは明かなり、故に暴徒が根據地として群集せる所の村落民は多くは之れ暴徒と氣脈を通ずる所のものなり、是等は一步も假借せずして軍隊の威力を示すべし、其風を聞きて恐怖萎縮し、再び起つの勇なきに至るもの多からむも、暴徒の種類も其所在地に依り異るべしと雖も、要するに眞實國家を憂ひ生命を犧にして國家に盡すと云ふが如きものは非ざるべし、是故に些の寬容を許さず森嚴なる我軍隊の勢威を渠等に知らしむるを要す、寬大忍容は决して渠等を歸服せしむる所以にあらざるなり、討伐軍に將として派出さるゝ將校諸氏の胸中既に成竹あらむ、余輩の言說或は蛇足たるべし、部署既に定まり各方面に發動せらるゝと聞き、行軍の勞を思ひ且つ之を謝し、其行を送るの辭に代へ、其所觀を述べ聊か參考に供せんとするは婆心のみ、之れ唯余輩のみならんや、在留十萬同胞の誠意也、

## ●漢城便り

▲三億圓の外債坂谷男の手に依り米國に於て成立の見込有之候由何卒事實に致度ものに候、由來外資は決して本邦を毛嫌致居ものには無之候并か大々的に入來らざるは外資移入に向つて人爲的障礙を加ふるに基因致候

▲資金の缺乏の爲に有利の事業を起さず政府も實業家も遣繰り算段に歲月を徒費し國家の進運を阻むるは恐の極に有之候今の時に於ける三億圓の外資は內地經濟界の沈睡を破るに小補なしと云ふべからず延ひては好良なる影響を韓國經濟界にも及ぼし來ることゝ存候

▲余輩曾て說を爲すらく我國民にして資本世界共通の利便を得んとせば須らく足利尊氏を目するに奸賊を以てするの觀念を有せざる程に寬容ならざる可らず其理由は資本の世界共通を望む以上は從つて志想も世界共通的ならざるべからずとの義に有之候

▲觀察使會議も近時御苦勞の一に數ふべきものに有之候只彼等を幾ら押搾したればとて[illegible]ともなるべき汁を得らるべきものには無之候無用の會議は決して統監政治を飾り不申候

▲南韓の收稅吏等は今以て納稅者に葉錢を強いて新貨との相場差額を役德と致居候由風の便りに及聞申候若し事實とすれば甚だ不埒千萬さ被存候

▲京城日報子切りに暴徒討伐に就て說明被致候事御苦勞に存候併し暴徒の討伐に就ては御說明無くとも統監の御腹は良く余輩には承知致居候一擧討伐は最早紙上の議論には無之銃劍君の實行に相俟ち候左程に懐柔がお好とは呆れ入たる次第に御座候

▲經濟協會に於ける池田通信管理局長の韓國通信事業の講話は專門家の高說として敬聽仕候只見れば何の苦も無き水鳥と心得無暗に郵電を用ひ居候余輩の如きは通信當局に對し遲延ながら特に其勞に對する感謝の念を禁ずる能はざるを告白致候

### 東京電報

## ▲新代議士招待會

西園寺政友會總裁は六月十六日同會所屬の新代議士を招き晩餐會を開催す（二十日發）

### 各地電報

▲賊徒二十餘を殪す

十九日午後五時第三巡查隊は谷城郡にて暴徒の集團を攻擊し三時間激戰の後此れを潰走せしめ賊二十五名を殪し二名を生擒し火繩銃二十六、三十年式步兵銃二、銃劍一、軍刀一、憲兵帽二、生牛其の他雜品數十點を鹵獲せり（二十日光州發）（記者曰此の暴徒は曩に我憲兵二名を殪したる一團なるべし）

### 雜報

●太皇帝の送品

嚴貴妃宮宮務嚴柱益は二十日日本に向け出發せり太皇帝よりは左の品々を韓太子へ託送せられたり

一皇太子夏服（韓服）漬物類三種一、金口煙草百箱

一太皇及嚴妃よりの御書翰

●財務監督局長の參內

本日の管なりし財務監督局長の參內は都合により昨日に繰上げられ午後九時半度支部大臣同次官に帶同せられ參內謁見し皇帝より優渥なる御諚を賜はりたり

●法相の奏上

法部大臣趙重應氏は平理院裁判長洪鍾億氏の質稟書に依り被告金鳳基に對する內亂事件の檢事公訴に由れる審理の換標を奏上せり

●會計檢査の進捗

本年度より獨立の官廳として開始せられたる會計檢査局の事務は餘程進捗し既に度支部を除くの外各部及び裁判所等京城に在る官廳の大部分は實地檢査を了し來月を以て京城所在官廳の全部を檢査したる上各地方官廳の實地檢査に着手する筈なるが從來度支部に檢査課なるものありたるも充分なる檢査を遂ぐる事能はず豫算決算の何たるを了解せざる韓人官吏の會計事務を檢査する事なれば同局は檢査上困難を極め居ると云ふ因みに本年の檢査は光武十年度以降三箇年分なり

●漁基入札に就て

昨日聞けるが儘を報道し置きたるが今更に聞く所によれば右は慶尙南北道沿海各部漁基の全部を入札に付するに非ずして從來經理院の所管に屬せしものゝ中帝室有にして賃貸借の性質を有せるものを處分するものなれば漁基の所屬を國有となすか又は帝室有に編入するかの根本問題とは別箇の處分にして農商工部又は度支部に關係なく宮內府に於て處理するものなりと云ふ

●漢城衛生會の馬匹購入

漢城衛生會の汚尿塵埃搬出に要する馬匹は軍司令部に依托し購入することゝなり交涉中なりし事は既報の如くなるが愈々交涉纏りたるを以て石川縣產馬七十頭を購入する事となり受領の爲め近々技術者を同縣に派遣し來月二十日迄に輸送し來る筈なり尙同會に要する馬具の他の器具も既に見本品を調製したる由にて近々入札に付せらるべし

●服制會

韓國民の服制を一定せんと圖り民衆服制會を組織し廣く會議を開き男子の服制に就ては既に之を選定するを得たれば今回更に女子の服制を選定することゝし來る二十四日鍾路商業會議所に於て總會を開き婦人一般の意見を聽取し決定の上は中樞院に建議する筈なりと

## ●經濟協會例會

韓國經濟協會五月例會は一昨夜日本人倶樂部に於て開催せられたり例に因り晩餐の后市原幹事長の紹介にて池田通信管理局長の韓國に於ける通信事業に關する有益なる講演（別項參照）あり續て東京の紳商藤原氏の經濟に關する談話あり十時無事閉會せり尙當夜の出席者は重立ちたる會員三十余名なりしと云ふ

# 韓國に於ける通信事業

左に揭ぐる者は一昨日の韓國經濟協會例會に於て通信管理局長池田十三郎氏が演說されたる筆記なり

一緒言

一韓國通信事業の沿革

韓國に於ける通信事業は目下統監管理の下に於て之れが執行の事に當り居るが左の二種のものより生れ來りたるものなり

第一は韓國政府自から經營したるもの

第二は日本政府の經營したるもの、遞信省經營のもの、陸軍省經營のもの、海軍省經營のもの

第一、韓國政府經營のものは郵便制度と（郵便）稱しても良きものは明治二十九年我國人を顧問として創設を爲したるに始まり明治三十一年閔商鎬なる人歐米の制度を研究し佛人を聘用し三十三年萬國聯合に加入し其表面の形に於て稍や体を具ふるに至りたるも其事業に於ては甚だ幼稚にして單に郵便の配達を爲すに過ぎず爲替、貯金は勿論小包さへも取扱ふに至らず

（電信）韓國に於て始めて電信の出來たのは明治十七年二月釜山長崎間の通信を最初とす二十一年仁川京城釜山間韓國自から建設を爲し引繼の際は五百二十里の線路ありたり其工事及運用の拙劣幼稚なることゝ不通障碍の多きことゝ殆んど兒戲に均しきものなりし

（電話）電話は京城仁川等約四五十名の加入者ありたるも甚だ微々たるものなりし

第二、（郵便）日本政府殊に遞信省の施設は明治九年釜山に郵便局を置きたるを最初とす十三年元山十六年仁川二十一年京城其後木浦、鎭南浦、群山、馬山、城津、平壤等なり陸軍は日露事件の野戰郵便あり

（電信）電信は明治十七年二月釜山開始を最初とす陸軍に於て二十七年事件に於て大擴張あり引繼當時に於て八百二十九里なりし

（電話）電話は明治二十五年六月仁川京城に交換事務を開きたるを始めとし韓國政府は自から通信の事業を經營せしも其經營の幼稚なるは終に我國をして自己公私の必要に應ずる爲め已むを得ず自から經營を爲す因を爲し日韓通信機關の並立を見たり然るに韓國の分は創設以來歲月を經るも成績見るべきものなく（實況視察三十七年十月）韓國官民の狀態は財政上に於ても業務の運用上に於て斯くの如き信用制度を發達せしむるに困難なるの狀況を示したるを以て日韓協約に依り韓國を扶殖保護するの任を負ふ我日本帝國の傍看する能はざるのみならず對韓經營上共通の利害關係ある通信制度の整頓は焦眉の急に迫られ明治三十八年四月一日韓國通信機關の經營を擧げて日本政府に委托するの取極めを爲すに至れり十七日京城に至り七月二日全く引繼を結了せり

（韓國通信）（野戰）遞信所管の下に經營を爲し其後野戰郵便を合併し三十九年一月十日より統監の管理に屬し陸海軍の電（陸海）（電信）信全部を合併して茲に始めて韓國に於ける統一を見に至れり（未了）

## ●清國漁夫の不穩

本月十七日稅關吏一名護衛巡査と共に小蒸滊船にて平安北道淸川江下流に出張したるに淸國密漁船漁夫二百餘名在りて小蒸滊船に投石し不穩の狀態ありしを以て一行は船を上流に昇せ稅關吏は巡查、船長、機關手の三名を殘して小蒸滊船を保護せしめ單身夜行して急を安州駐在所に告げ更に定州分署に到り同分署より警官出張し尙新義州龍岩浦の兩分遣所より憲兵出張し一行は幸にして無事なるを得たりとの電報其の筋に達したるが詳細は未だ明かならず

●サワリ文句（其の二）

△杜鵑は殘春の空に啼くなれども新たなる可き時勢は其門戶を鎖させり。

△伊藤公は東京政府と漢城政府を運轉せる大なる車掌なり、然れども通行稅を苛刻に徵收せられざることを希望す。

△蛙が鳴く、木の葉が動く、殖民地に於ては人間の相場は悉く空相場のみ高低せり。

△暴徒票を發行せる專賣特許のレッテルは何人より許可したるや。

●稅關埠頭工事竣成期

仁川稅關埠頭一萬一千坪の埋築工事は本月中に完成する豫定なりしも受負作業のことゝて非常に遲延し目下約十分の八は竣成を告げ殘部二分も其の土砂は大部運搬されあれば多分來月中には竣成すべく尙周圍の石壁等凡ての附帶工事は七月廿日迄に完成せしむる豫定にて廳舍、上屋及長六十間巾六間の大鐵脚棧橋も目下設計中なれば此等諸種の工事は七月廿日以後着手するべく又仁川停車場より新築上屋に敷設さるべき鐵道用敷地埋築地は陸軍運輸部前に約二千坪の三角形の埋立をなすことに決したれば前記諸種の工事着手と共に該工事も着手さるべしと云ふ

●愛國婦人會役員會

一昨日午後二時總務長官邸に於て開催李玉[illegible]、[illegible]荻田、侯、栗本、中村、村上、黑田、山口、松井、兒玉、香阪、國分、[illegible]、佐々木、木島、京口、三浦等の各夫人兒玉相談役大[illegible]

[illegible]主事祭出席慈善演藝會開催に關し協議の結果本部役員及令孃方の活人畫及韓國皇太子殿下御下賜同殿下の御動作を寫したる活動寫眞其他廟新興味ある活動寫眞をも加へるに協定し尙活人畫題としては昨年夏韓國衛戍病院收容の負傷兵看護の實況太田道灌、曾我兄弟、雪中に於ける常盤御前等を選定し看護の實況の如きは本部副長救護部長新宿當番幹事其他の有志夫人一同出演することゝなりたりと又入場券は三日間共通にては混雜の爲め來會者に迷惑をかける恐れあるに依り場所割に應じたる日切りの切符を出金者に配布することゝなりたる由

●メソジスト教會

旭町二丁目の美以教會にて從來エピスパル派に屬しハリス博士監督の下に傳道に從事したるが在日本美以教會はエピスコパル、南美以美、日本メソジスト三派合同をなしたる結果京城の該教會も日本メソジスト教會の名にて監督本田庸一氏の下に木原牧師從來の通り在韓日本人の傳道に從事することゝなりたりと云ふ

●三浦氏茶話會

京城理事官三浦彌五郎氏は本日午後四時より理事廳庭園に於て官民有志を招待し茶話會を催す由なり

●高等女學校開校式參列者

來る二十三日の同校開校式には伊藤統監長谷川大將等を初め日韓官民の重なるものは元より愛國婦人會京城婦人會の役員及び各國領事等も參列する筈にて無慮二百名に達すと云ふ

●韓國銀貨發行高

韓國本支金庫に於ける銀貨發行高は總計四百五十二萬四千七百四十圓に達したりと

●銀行券發行高

十七日現在第一銀行券市場流通高は八百三十一萬六千百四拾一圓四十錢にして手許有高は五十八萬九千七百五十八圓六十錢なりと

●手形組合保證高

本月十三日現在漢城手形組合に於ける手形保證高は四十四萬一千九百圓にして五月六日現在に比較して九千七百圓を增加したり

●舊白銅貨引上高

前週に於ける舊白銅貨買上高は總計三萬三千七百九十八圓〇二錢五厘なりと

●葉錢買上高

最近一週間に於ける葉錢引上高は金六十八圓二十錢なり

●韓政府印紙收入

本年一月より三月に至る韓國政府印紙收入は未だ各道より報告に接せざるものもあれど既に報告濟みとなりたる分は一万二千四百六十四圜九十一錢なりと因に右は全國に於ける約十分の一に相當する者なりと

●鑛業手數料

本年一二三月に於ける農商工部鑛業手數料は金二千百五十錢なりと

●仁川民團の滯納額

仁川民團前年度諸稅金の滯納額は約二萬圓に達し居れるが今回右滯納者に對し滯納處分を執行する筈にて目下其書類調查中なりと

●大同會の商務支局

大同會に於ては日南部芝里一統八戶に商務支局を設置せり

●井上開教使

鎭南浦平壤地方巡教中なりし井上淨土宗開教使は明二十三日歸院すると云ふ

### 公人私人

△小野是一郎（統監府技師） 巴城館へ

△江藤哲藏（熊本縣前代議士） 浦尾へ

△川原信義（法典調查局事務官） 不知火旅館へ

▲鈴木彌三郎（東京府技師） 浦尾へ

## ●近事片々

▲總理 李完用[illegible]

▲暴徒 討伐に[illegible]

▲人等 [illegible]

▲衣制 [illegible]

▲決議 [illegible]

▲赤飯 [illegible]

▲荷馬 [illegible]

▲溫突 [illegible]

▲擁察 [illegible]

▲指導 [illegible]

▲韓皇 亦近く[illegible]準備中なりと聞く

▲拓殖 會社は[illegible]

▲[illegible] [illegible]

▲夫迄 [illegible]

▲宋君 [illegible]

▲完用 [illegible]

▲觀察 使會議[illegible]

▲觀察 [illegible]

▲露士 [illegible]

▲龍 [illegible]

▲ウ伯 [illegible]

▲製艦 [illegible]

▲後藤 滿鐵[illegible]

東京電報

▲ボイコット事件に就き上野香港領事歸朝を命ぜられ[illegible]

米國議會を通過せる日本大博覽會出品費百五十萬弗支出の件は大統領の調印を經たる旨電報ありたり（二十一日發）

鎭南浦電報

▲同日里浦に於ける[illegible]事件は鎭定したるものと認め出張の警官憲兵は一先引揚げたるが尙數隻の密漁船あり[illegible]

二十一日發

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△北靑守備隊內[illegible]長津分遣隊たりし安藤中尉已下廿五名は甲山に在る中隊に合する爲め歸還の途中五月十六日山高嶺に於て洪派道の部下約五百と交戰其十一を殪す賊の負傷若干あり

△京畿道廣州分遣隊より出したる下士已下七名の斥候は十五日龍仁郡內に於て約十名の賊を討ち其五を殪す

△江原道橫城分遣隊は四月三十日橫城郡內にて賊二名を捕へ文幕停止斥候は五月二十正月七日文幕北方約一里半に於て約三十の賊を擊退す

△五月十日原州より出したる曹長已下十六名は韓兵三名と共に原州西北方地區の搜索[illegible]

△橫城分遣隊より出したる下士已下九名[illegible]は五月十一日橫城西北方[illegible]附近に於て約七十の賊を討ち其十三を殪す

[illegible]

## 東京電報

▲ボイコツト事件に就き上野香港領事歸朝を命ぜらる

▲米國議會を通過せる日本大博覽會出品費百五十萬弗支出の件は大統領の調印を經たる旨電報ありたり(二十一日發)

## 鎭南浦電報

▲同日里浦に於ける[illegible]漁夫暴動事件は[illegible]の警官憲兵は[illegible]定したるもの[illegible]出張の[illegible]ト先引揚げたるが尚數隻の密漁船あり(二十一日發)

## 暴徒討伐情報 (軍司令部着)

(二十一日發)

▲[illegible]長津分遣隊たりし安[illegible]中隊已下廿五名は甲山に在る中隊に合す[illegible]爲め[illegible]の途中五月十六日山高闘に於て[illegible]の賊を討ち其五[illegible]

洪派道の部下約五百と交戰其十一を殪す賊の負傷若干あり

△京畿道驪州分遣隊[illegible]七名の[illegible]

江原道橫城分遣隊は四月三十日橫城[illegible]内にて賊二名を捕へ文幕停止所候は五月二十[illegible]名を捕へ文幕[illegible]の連絡兵二名は[illegible]日五月七日文谷北方約一里半に於て約三[illegible]の賊を[illegible]

△五月十日原州より出したる曹長已下十六名は韓兵三名と共に原州西北方地區の搜索中五月十一日十四五名の賊に遭遇し其五を殪す

△橫城分遣隊より出したる[illegible]下九[illegible]

△五月十一日橫城西北方[illegible]に於て約七十の賊を討ち其十三を殪す

△京城春川街道上[illegible]京城南北方後坪里附近に於て約三百の賊に遭遇し十餘名の死傷を生ぜしむ

## 北韓の賊情

北韓に於ける一般の狀況は不穩の形勢ある中文川、高原地方を中心として附近の部落に賊徒漸く侵入し來り又元山より德原を經て陽德に通ずる沿道並に安邊郡中永豐社の内馬轉洞汝海洞附近は賊徒の横行絶ゆることなく殊に昨今は陽春の好季に乘じ彼等の行動上多大の便宜を與へ日に增し賊勢猖獗を加ふるの狀態にあり而して永豐社一圓は由來人氣不良にして且つ邊僻交通不便の爲め賊徒の横行を擅にし被害者より我官憲に訴ふるもの引も切らず且其往復に多大の時日を要し軍隊出動の際は既に賊は遠く逃れて踪跡を晦まし賊徒掃蕩の目的を遂行するを得ず依て元山管區長より其現狀を元山守備司令官に意見開申せしことありしが同官も其必要を認められ客月永豐社中最も不穩の地點なる馬轉洞に連絡哨として下士以下八名を分遣せらるゝこととなりしより爾來同地附近は稍々靜穩を見るに至れり又永興高原文川の地方の山間僻陬の部落には近來賊徒の往來繁劇にして客月來より文川郡衙襲來及巡査駐在所燒討其他日本人巡査遭難等賊徒の被害續出し就中平安南道に界せる山間僻邑の部落には横行甚しく里民を脅嚇して金品の掠奪を恣にするより客月來元山憲兵分遣所は元山守備警察署等と協力して前後二回の討伐掃蕩に努むると雖も由來之の地の地勢は連山屛立斷崖絶壁峩々として輕裝なる匪賊の遁竄を容易ならしむる爲め未だ掃蕩の目的を遂する能はず剩へ昨日來は數名乃至十數名の小集團を作したる賊徒出沒し里民を拉して金品の誅求を強ひ就中一進會員に對しては倶に天を戴かざる奸賊と稱へ慘酷なる壓迫を加へ甚しきに至りては其家屋に放火し且つ之を殺害する等の兇行を敢行するを躊躇せざる等暴戾を逞ふするを以て一進會員及相當資産を有する善良なる里民等は戰々恟々憑る所を知らず堵に安んせざるの狀態にして然も目下は播種農繁の時期たるにも拘らず[illegible]從事するを得ず山間小部僻邑の境に住する者は他に避難し或は其準備に怠らざる[illegible]にありと云ふ又哀れならずや

## 京城居留退去者

四月中に於ける京城民團役所に取扱ひたる居留屆は二百八十六通にして内人員男三百〇六名女二百六十九名退去屆は二十九通にして内人員男十名女二十三名なり又館居屆は七十六通にして人員内男八十二名女八十四名なりと云ふ

## 傳染病患者

本年一月以來[illegible]日まで京城に發生したる傳染病患者は赤痢一名腸窒扶的利亞二名を除くの外は悉く天然痘にして其數實に百四六の多きに達し見て[illegible]

## 仁川放火ご入小

仁川に於ては去月來放火頻々として既に十數回に及びたるが其筋に於ても犯人捜査に就いては殆んど死力を盡しつゝあれども未だ逮捕するの運びに至らず其犯人評ありて是れぞと認むるが其放火の損人なるは勿論或は其の所爲をなすものゝ如し右の狀態にて其の筋に安んぜず其のさへ見るに至れり

景品付大賣出

景品總高金壹千圓也 貯蓄債券

一等金二百圓

二等以下略ス店頭ニ掲載アリ容赦ナシ

現金掛賣共金五十錢毎ニ景品券一枚

五月十日ヨリ七月十五日迄

抽籤期日七月十六日弊店ニ於テ新聞社員及景品券持參ノ御方立會ノ上公平ニ施行仕候

和洋雜貨 文房具卸 測量器械

京城本町一丁目(郵便局前) ノサキ商店 電話六百四十八番

## 驪州の火災

去る十三日午後七時三十分驪州郡邑内面弘門里延添方より發火し原因は温突の火薬屋根に燃移りたるものなりと家屋全燒五戸半燒一戸米[illegible]九十俵粳米九十斛籾二十俵[illegible]石油二罐其價格家屋二千二十九圓米百二十圓餅米十二圓籾百圓[illegible]十二圓木綿二十五圓石油四圓なり

## 龍山本願寺の誕生會

龍山なる西本願寺開教總監部にては昨日午後一時より宗祖見眞大師の御誕生會を執行せり餘興には唱歌等ありたり[illegible]今回は招待狀なども發せずして極て質素に行はれたりと

## 安金孤物語

數年前權勢の爭ひより前警務使權榮鎭と共に捕はれ獄吏の拷問に罹り非業の死を遂げたる前軍部大臣安駉壽は只一人の女子ありて男子なかりしかば其家系の相續者に就て大に憂慮せしが此頃安國泰と云ふ本年二十三歳になる一人の男烟壽の兒なりと稱し現はれたり其由來を聞くに今を距る二十六年前沈相薰が喪に依り定山の郷郎にある際留守中其妾たる某女と密通し沈[illegible]の目を忍び孀出し人知れず快樂に耽り居る中同氏は某女の胎内に宿り難なく産み落したるは右の國泰にてありしも妾の姿は沈の知る所となら何なる辛き目に遭はんも知れずと外の聞へを憚りて離れ落つると共に三淸洞に住する安仁煥に托して養育せしむることゝなり安烟壽には[illegible]

## 韓人と韓人との喧嘩

昨日午前〇時頃ち夜半頃洞觀の道路に於て韓人車夫と一韓人とが摑み合ひをなし居る所を巡査が認めて引き分け其の次第を問けども此の巡査韓語を解せず韓人また日語を語る能はざるより警察署に連れ歸り取調べて見ると癈化病院の雇高倉根(二十)といふが金春三の人力車に乘りて新町より歸り其の賃錢のことより斯く爭論に及びしこと判明し倉根より二十五錢を支拂ひて事濟となれり

既に[illegible]亡したりとて人知れず養育し今日に[illegible]ある國泰は昨年に至り自分の父親は[illegible]と聞き大に喜び直ちに其家系を繼がんと安家に申込みたるも安家にては確實なる證據なき爲め其申込みを容れず今に紛紜中なりと又た今を距る十四年前日本派として守舊黨の爲め刺殺されたる前學部協辨金鶴羽は曾て日本に在留せし時一女子を留めて歸國後間もなく刺客の爲め非業の最期を遂げたれば金の女は日本に於て或る人の手に育まれ今日は最早や二十九歳になれるも誰れとて女の子のありしと知るものなかりし處此程故國の懷しくなりしと見へ近々歸韓して親族を訪ひ韓國の籍に入る筈なりと

## 怪しな奴

南署の某巡査が昨日午前十時頃本町通を巡回の際年頃十三四の韓童が怪しき擧動にてうろつき居れるより何は兎もあれ取調べて見んと是れを呼び留めしに韓童は振り向いて巡査と見るや一目散に走り出したるより愈〻以て怪しの奴と跡追ひかけ引捕へて住所氏名を聞くに忠淸道忠州西署新門内李春成方に居る黄大龍(十四)といふ者なりと答ふれども擧動不審の廉あるを以て警察の手へ引立てたり




## 紅塵錄

女子と共に養ひ難しとせられたる小人程厄介な者は無し、愚痴ぽくつて猜疑心が強くて陋劣であると來ては殆んど話しにならぬ代者だ△這麼輩は得て腰辨に多い△破落漢根性と番頭根性の甘く調和の出來る者は官吏となりて成功すべし△熊谷民長は能く自黨の部下を作る、而かも一たび氣に喰はぬことあれば火の如く怒り罵詈怒號を逞くす之を以てか部下は往々痛ふものあり確乎に其の人の損なり△京城嘲町は一名危險小路と名づく溝の上に渡したる板に朽ちたるあり街路の眞中に井戸あり烟草を喰へて通行すれば草屋根に燃移る恐れあればなり△外勤看護婦と云ふも追々繁昌の季に入れりそんじよ其處いらの浮賣婦が暫しの身体休めに儲かる仕事なり△勝手の苦しいのを我慢してグビリ〳〵晩酌をやる男盡し意氣地なし也華嚴にも淺間にも行かぬ変りに間違へば橋の上に行き交ふ人の袖にすがりて哀を乞ふ男なり

## 歌舞伎座替り狂言

歌舞伎座本日の替り狂言は前「小栗判官」切「どもの又兵衛」にして重なる役割は左の如し

横山太郎、おとく(片岡市蔵)照手姫、小栗判官(中村竹三郎)照手姫、たゆ、勘平、照之助(中村[illegible])小よし(市川紅三郎)から、浪七、政元、修理助(市川[illegible])[illegible]岡島三郎)又兵衛(片岡長太郎)[illegible]山大膳、[illegible](片岡市鶴)[illegible]間八郎、文兵衛(片岡長太郎)

## 熊本支店主任の公判

本町一丁目の熊本金匣舍支店主任阪本某が金匣の賣却代金二千圓を費消したることは既報せしが一昨日理事廳公判所に於て公判開廷せられ檢事は詐欺取財犯として處分せられたしと論告し木尾辯護士は當人の性行より論及して刑の執行猶豫を哀願せしが明二十三日判決言渡ある筈

## 淨土宗の法會

明治町淨土宗開教院にては來る二十四日より一周間傳燈開管長代理百萬遍法主布教使岩井智海師の說教にて重大法會を執行し尚ほ二十六日より三日間は城内外數ヶ所に於て紀念傳導布敎をなすと云ふ

## 廣告

小川[illegible]發行[illegible]極めて妙にツレ[illegible]趣味と實益との配合巧みなるところは確かに此種の雜誌として[illegible]

## 川柳

『人』 壽町 吾妻屋主人

蜻蛉の樣な頭髮でいやな人

餘鑛よまれてぐにやりこちの人

猫の欠伸見て欠伸する樂な人

錢湯で尻をごやすと外の人

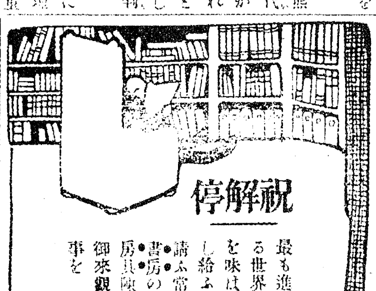
消となり居りしを佐々木某來韓して再び其企畫中なりと

## 法律雜誌發行企畫

京城在留辯護士協會員は法律雜誌發行の企畫ありしも其後立凡を拔けるもの編輯人の勞若宗するに際りあり内容は總撰なる[illegible]說文辭雜沿にして所論的確正に[illegible]の依あり其他各名家の論文美文を紛紜として百花一時に亂れ咲くの觀あるは見るからに嬉しとなす(東京市牛込區市ヶ谷成蹊社發行定價金[illegible]錢)

新茶着荷

富士の里茶舖 京城本町五丁目



## 祝解停

最も進步したる世界の文物を味はんとし給ふ諸彥は請ふ常に●日韓●書房の圖書文房具陳列場を御來觀あらん事を

飲む 忽ち精力增進し生殖器を強健ならしむる 勃興新發見藥

[illegible]生殖器[illegible]

本劑は男女生殖器不能卽ち陰萎病。陽物無精。遺精。過手神經衰弱。老衰無力元氣衰弱。生殖虛弱房夢滿精。精液缺乏。精蟲不育淫慾ある。冷症。快味減少。早老天下無比 奇效記憶力減退等の諸症に用ひて發見ある最新藥也

增殖 生殖器を強健にし精氣を勃興せしめ人生の最大快樂を得んと望む者は早く試みよ其世にありふれたる如電光 飛魂 恍惚 肉躍

假令無效偽藥と同一視することある的の類に非ず速效眞に快絕なる名藥を[illegible]天下[illegible]を遂し永久の[illegible]劑は壹劑九十錢貳劑[illegible]特別製分以上にて治癒の目的を遂し永久の榮華を結ばしむ 藥價送料共壹劑九十錢貳劑壹圓[illegible]特別製分參圓十錢郵券代用貳割引[illegible]

専賣 東京神田五軒町十九番 日新館藥房

第二回荷着

一蚊帳類 一久留米絣 一備后縞絣 一浴衣地 一布團地

珍柄種々アリ

京城明治町二丁目(電話二六二番) 卸商 唐川商店

龍山旭橋通 唐川支店

醫學士 伊藤助先生貳拾年間苦辛經營萬驗千試 驚く可き一大發明 ◎たむし、いんきんしつ特效藥◎

官許 たむし丸 (内用藥) 一ヶ月丸

本劑は塗り藥に非ずして輕症は十日乃至二十日間連服に依り重症と雖も三十日乃至四十日間連服に依り根治し再發且つ内攻の患ひなからしむ

藥價 五日分五拾錢 十日分九十錢 廿日分一圓六十錢 三十日分二圓十錢

遠地患者御注文の節は送料小包料廿二錢を以て直に送藥す 八錢但代金引換

東京市日本橋區浪花町廿一番地(浪花扇隣)

發賣本店 龍雲堂藥舖 (電話浪四〇六二番)振替口座一四、〇七三番

東京特約大販賣店 日本橋區米澤町二丁目 吉田萬珠堂藥局 (電浪一壹三六)振替口座二三〇六番

◎賣捌所は全國到る處有名なる藥店に請賣有之候若し最寄の藥店に取次無之候ときは本舖へ向け御注文を乞ふ

◎請賣御望の方は本舖並に特約店に御申込被下度候以て特に御相談可申上候

## 在韓宮城縣人會幹事

諸國政宗公の御祭典を兼ね在韓宮城縣人會春期大會開催候間同縣人及同縣に緣故ある諸君は奮て御來會相成度候也

◎日時 來る五月廿三日午後正五時

◎會場 京城大和町三丁目梅の家

◎會費 金貳圓當日御持參の事

一申込所 京城大和町京城日報社内へ安田慶三郎 同旭町[illegible]館 同[illegible]同 日川警察[illegible]

明治四十一年五月

足踏白米大賣出し

◉特等壹升金十七錢

◉並等同 十六錢

◉上等同 十六錢五厘

◉俵賣は特に御相談可仕候

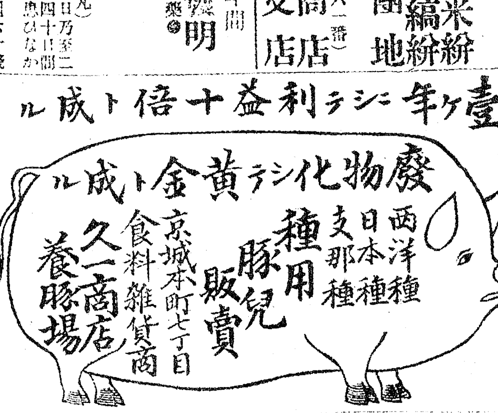
足踏米の特色は他の機械搗白米に比較し美味にして光澤を有し候のみならず容量の增殖は一層多大なれば經濟上頗る御徳用に候何卒多少に不拘御用命仰付られ度伏て御願申上候

京城壽町一丁目 安田精米店

忽ち四版

臣山花袋 花袋集

自然主義の宣傳者として自然派小說家の泰斗たる田山先生の傑作蒲團一兵卒隣室を悉く收めて本書になり




月刊 朝鮮

京城本町二丁目 日韓書房

◉測量諸般製圖設計

◉土木事業

自分儀過日來地方へ出張[illegible]江湖諸君の御用命[illegible]京城明治町一丁目 山本測量事務所

◉迅速 運送

懇切を大旨とし迅速を特色として運送に從事致し居候間御用命奉願上候

京城南山町[illegible] 二運送店

◉懇切 通關

濃厚 滋養 素麵 饂飩

製造所

▲特別勉强▼

京城明治町一丁目 橋口商店

高等御下宿 三河屋

諸官衙通勤に最も便利の位置

京城旭町一丁目 電話[illegible]八番

主 山縣儀作

疊製造業

▲開業御披露▼

▲迅速確實價格低廉▼

京城南大門通二丁目

御手洗幸助